



湖底に眠る地球のものさし

(水月湖から採取された堆積物の放射性炭素年代のサンプル)

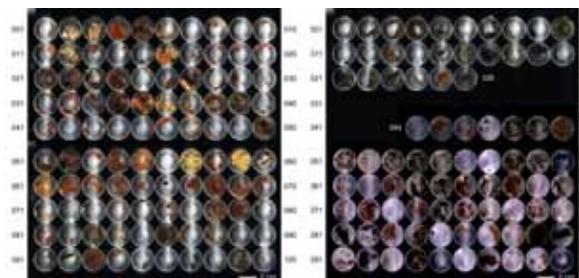


米国科学振興協会が 三方五湖での研究データを発表

2012年10月18日、米国科学振興協会(AAAS)が文部科学省で異例の記者会見を行い、国内の主要報道関係者40人が会場に詰めかけました。

会見では、三方五湖のひとつ水月湖(若狭町)で得られたデータを日欧の研究チームが解析し、世界のどこで採取された化石であっても、いつの時代の物か年代を精密に測定することができたり、また、過去の気候変動も調べることが可能な“ものさし”が出来上がったと発表しました。

表紙の写真は、この水月湖の湖底から採取されたさまざまな放射性炭素年代のサンプルの一覧です。今回の特集では、この水月湖の湖底調査についてご紹介します。



※写真提供 (英国・ニューカッスル大学 教授 中川 毅 氏)



三方五湖の水月湖とは どのような湖なのか

三方五湖は、5つの湖で形成されています。

5つの湖は、それぞれ水質や水深が違い、すべて濃さの違う青色に見えることから、別名「五色の湖」とも呼ばれており、全国でも屈指の観光名所です。

そのひとつ「水月湖」は、周囲が9.85km、面積が4.06km²と5つの湖の中でもっとも大きく、水深も約34mあり、深く広い湖です。

周囲が高い山々で囲まれているため、波風により湖水がかき混ぜられることが無く、深部までは空気にふれることがありません。

また、湖の中層から下は硫化水素濃度が高く無酸素状態となっているため、水月湖の魚介類は中層より上にしか生息していません。



湖底に眠る地球のものさし

▲ラムサール条約登録湿地
「三方五湖」(水月湖)

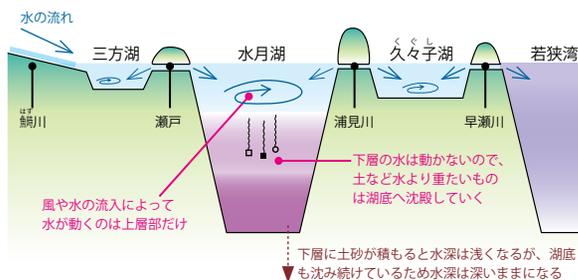


なぜ、この水月湖が 調査対象になったのか

水月湖は、湖底を調査するにあたって、いくつかの条件を満たしているからです。

まず、水月湖の湖底には、前述のとおり湖の中層から下は硫化水素濃度が非常に高く、湖底を荒らす魚介類などの生物が生息していません。

また、若狭町を縦断する三方断層によって湖や周辺の地盤は数万年にわたって沈み続けているため、通常は土砂などで浅くなってしまふ湖底が、水深の深いまま存在しています。



さらに、三方五湖へ流れ込む大きな河川のひとつである鱒川と若狭湾から湖へ流れ込む海水も、三方湖や久々子湖を介しているため、河川から水月湖の湖底への影響が少ないことも調査対象に上げられた理由です。



水月湖でどのような 調査が行われたのか

それは、記者会見を行った日欧研究チームのリーダーで、英国ニューカッスル大学の中川毅教授が、2006年に水月湖の湖底をボーリング調査し、約73mにもおよぶ湖底の堆積物を欠落なく採取することに成功しました。

採取した堆積物には、土砂だけではなく、火山灰やプランクトンの死骸、植物の花粉などが含まれています。その堆積物を一つひとつ調べることで、どの年代に存在していた物なのかがわかるそうです。

なお、水月湖のボーリング調査は、1991年に国際日本文化研究センター名誉教授の安田喜憲さんが試掘調査し、水月湖に年縞堆積物が存在することをアジアで初めて確認しました。



▲ボーリング調査の様子(水月湖)



▲ボーリング調査により採取した堆積物を整理する様子



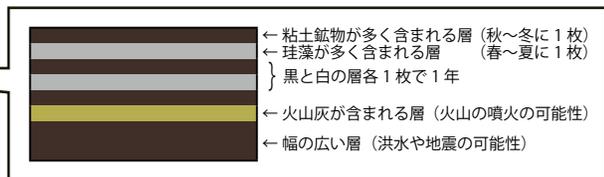
年縞堆積物とは どのようなものなのか

左記の写真は、水月湖のボーリング調査で採取した湖底の堆積物です。

ご覧いただくと分かるように、土が地層のような縞模様を形成しています。これが「年縞」と呼ばれるものです。

水月湖の年縞は、黒っぽい層と白っぽい層が積み重なっています。黒っぽい層は、粘土鉱物が多く含まれており、秋から冬など寒い期間にかけて積み重なる層です。反対に白っぽい層は、珪藻と呼ばれる植物プランクトンが多く含まれている層で、春から夏など暖かい期間に積み重なります。珪藻は、珪酸質と呼ばれる物質でできた固い殻で覆われているため、その死骸は何万年も保存され、この殻が多く含まれると土砂が白っぽくなります。

この黒い層と白い層を合わせて1年分の年縞であることが確認されました。



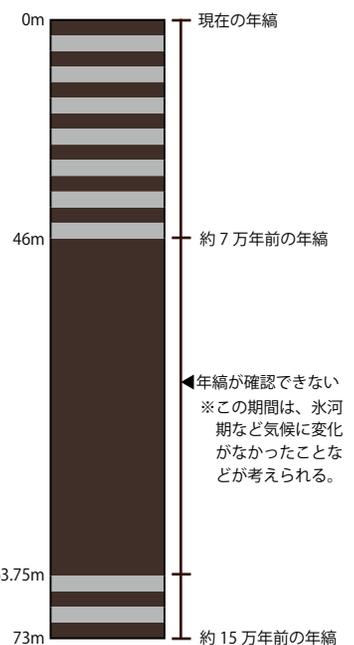
採取された年縞には 何年分の堆積物があるのか

現在の湖底を0年とすると、約73 mのうち46 mまでの間に明確な年縞が見られます。

これを年数に換算すると約7万年分にもおよび、欠落のないものとしては世界でも類を見ません。

また、46 mから63.75 mまでは年縞が確認できません。63.75 m以降には、時折り年縞が見られ、最深部では約15万年前にあたるそうです。

日欧研究チームでは46 mまでの7万年分について、偏光顕微鏡で確認する方法と、高解像度蛍光X線およびレントゲンを用いた方法を使い、7万年間に対する誤差は数十年という高い精度の年代のものさしを作り上げました。





ねんこう
年縞から年代以外も
調べることができるのか

年縞には昔の環境に関わる情報が多く含まれており、しかも年単位で気候や環境の変化を追うことができます。そのため、以下のことを知ることができます。

①細かな気候変動を知る

年縞は、水温や降水量の変動による湖水の水質に左右されるため、気候条件の影響を大きく受けています。そのため、年縞を調べることで、当時が寒かったか暑かったか、あるいは乾燥していたか、湿度が高かったかなど気候変動を知ることができます。

②細かな植生変動を知る

年縞に含まれていた花粉の化石からは、当時に生えていた植物を調べることができます。そのため、三方五湖付近にどのような植物が生えていたかなど植生の変化を知ることができます。

③湖の堆積物流入量を知る

年縞の層の厚さは、堆積物の流入速度などによって変化します。そのため、当時どのような、またどの程度の災害があったかなどを知ることができます。

④現代の環境変動を知る

近代の年縞には人工の汚泥が含まれています。そのため、人間の産業活動によって湖や河川をどのように汚染したかなどを知ることができます。

⑤環境変動の周期を知る

年縞の堆積物の構造や含まれる鉱物の種類などの変化を解析することで、当時に影響を与えた気候変動や太陽活動の周期性を知ることができます。そのため、氷河期の周期や、地震など災害の発生周期などを知ることができます。



▲年縞の中から採取された花粉の化石



▲大きな地震の形跡
※大きな地震が起きると、湖の周囲から土砂が崩落して湖底に積もる

湖底に 光を当てた 男たち

水月湖の湖底をボーリング調査し、年縞を調査・研究した男たちです。

この3人の男たちが、この水月湖の深く暗い湖底に「世界標準」という光を射し込みました。

第一次調査リーダー
国際日本文化研究センター
名誉教授 安田 喜憲さん



1991年試掘ボーリング調査により、年縞堆積物の存在をアジアで初めて確認。1993年に約75mの堆積物を採取

第二次調査リーダー
英国ニューカッスル大学
教授 中川 毅さん



2006年にボーリング調査し、約73mの堆積物を欠落なく採取。日欧研究チームのリーダーとして堆積物を研究

第三次調査リーダー
東京大学
教授 多田 隆治さん



2012年にボーリング調査を行い、きれいに年縞が存在する約40mの堆積物を欠落なく採取

世界へ羽ばたく水月湖の年縞



放射性炭素年代が 地球のものさしの標準

表紙の写真のような放射性炭素年代とはどういったものなのでしょう。

年縞に含まれる年数が正確にわかる木の葉や枝に対して、放射性炭素年代測定を行っています。放射性炭素年代測定とは、生物の体内に含まれる放射性炭素の濃度によって、その生物が死亡した年代を調べるものです。

放射性炭素年代には誤差はつきもので、水月湖のデータがとれるまでは正確な年代を調べることができませんでした。

しかし、水月湖のデータは1年ごとに正確な縞模様となっているため、その中から採取した木の葉や枝の放射性炭素年代を測定することで、そのズレを無くすことができます。

また、水月湖から約800個のサンプルを採取して測定したことで、5万2800年前までの年代測定値をそろえることができました。

これにより、2012年7月13日に仏国・パリで開催された第21回国際放射性炭素会議の場において、水月湖の年縞が2013年以降の地質学的年代の世界標準になることが承認されました。



今後、水月湖の年縞が さまざまな研究に活用される

今後、水月湖の年縞調査はどう進展していくのでしょうか。

水月湖の年縞研究は、年代に関わる成果だけではなく、それを基礎にした古気候の復元研究が期待されています。

1993年に採取した年縞から、花粉化石を基にした縄文時代開始前後の古気候の変動研究の成果がすでに発表され、2006年に採取した年縞からは、研究対象の期間を、過去7万年間に拡大して実施されています。

花粉化石からの分析以外にも、年縞の中に含まれる物質の分析や、珪藻の種類から海水の浸入時期を調べる珪藻分析などの研究もすでに始まっています。

この分析や研究に、水月湖の年縞から抽出された正確な年代値を与えることで、国際的に比較のできるデータ・研究成果となることが確実視されています。

これらの水月湖のデータは、日本だけではなく世界各地のさまざまな研究者たちにより、今もどこかで分析や研究がされています。





▲ラムサール条約登録湿地
「三方五湖」(水月湖)



地球のものさし! 年縞をもっと知ろう

年縞のことをもっと知りたい場合どうしたら良いのでしょうか。

若狭町鳥浜にある若狭三方縄文博物館が3月23日にリニューアルオープンします。

同博物館では、水月湖の年縞に関心を持ってもらおうと、リニューアルに伴い展示室の一角に年縞のコーナーが常設展示されます。

このコーナーでは、実際に採取された年縞や花粉の化石が展示されたり、掘削時の様子などが映像で紹介されるなどしていますので、興味のある方は、ぜひ若狭三方縄文博物館に足を運んでみてください。



水月湖の湖底で眠る地球のものさしは、あなたが今生きているこの時代も年縞として積み重なっています。後世の人々の研究調査で「この時代の年縞から汚染が進み始めた」などと、言われないうように心がけたいですね。



水月湖の年縞を 若狭町に来て!見て!食べる?

町内の老舗菓子店の岡本善七製菓(下タ中)が「年縞」をイメージした焼き菓子を製造し、このほど販売を始めました。

この菓子は、四代目店主の岡本武士さんが「原価を考えずおいしい菓子を」と、町などから年縞の情報をもらいながら、約2か月かけて考案しました。菓子は、生クリームやハチミツなど13種類の食材を使い、店主がこだわった生地を何層にも重ねて年縞をイメージしたものです。また、クルミやアーモンドのスライスを載せたり、クランベリーなどを層の間に挟むなど、堆積物を表現してあります。

店主の岡本武士さんは「今後は箱入りの大きい商品を作る予定。三方五湖の新しいお土産物として定着できたら」と話していました。



▲年縞をイメージした焼き菓子を手にする岡本善七製菓の先代店主



▲年縞ケーキ(150円/個)

●岡本善七製菓 TEL 62-0530
(若狭町下タ中7-6)

まちの話題

※広報紙に「あなた」の写真が写って
いましたらご連絡ください。
写真をさしあげます。
(総務課 TEL45-9109)



▲表彰状を手にする飛永さん（写真左）



伝統野菜のマイスター★ (2/13)

伝統野菜の山内かぶらを生産している飛永悦子さん（山内）が、地域特産物マイスターに認定されました。

地域特産物マイスターは、地域特産物の栽培や加工などで優れた技術を持つ人を認定し、技術の伝承や産地の育成を図るものです。

飛永さんは、2010年に山内かぶらの出荷を復活させ、その後も、伝統野菜を使った地域活性化や地産地消活動を積極的に行ったことが今回の認定につながったようです。

飛永さんのマイスター認定は、県内では6人目、若狭町では初めての認定となります。



まちづくりを考えよう (2/16)

熊川宿まちづくり総集会在熊川児童館で行われ、区民や関係者など約80人が参加しました。

集会では、京都のNPO法人京町家再生研究会の末川協さんが「京町家再生と景観向上の取り組み」と題した講演を行いました。

末川さんは、「景観とは、その時代の社会的価値をまるごと示すものさし」と昔ながらの景観を残していく意義を強調しました。

その後、熊川宿の空き家調査を行っている立命館大学の学生が調査報告を行い、若狭熊川宿まちづくり特別委員会の宮本哲男さんがその対策の取り組みについて説明をしました。

参加者は、集会を通じて、歴史的景観の向上と空き家対策の意識を高めていました。



▲景観向上の取り組みについて講演する末川さん



農村民泊はじめませんか (2/19)

農家のおもてなし研修会が中央公民館で行われました。

この研修会は、若狭町エコ・グリーンツーリズム推進協議会が開催したもので、町内で農村民泊をしている人や、今後やってみようと考えている人など約20人が参加しました。

研修会では、越前市で農村民泊や農業体験の受け入れを行っている口ハス越前の田中滋子事務局長が、同市での農村民泊の取り組みについて講演しました。

田中さんは「無理なく、楽しみながら続けられる農村民泊を目指して欲しい」と話し、参加者は先進地の取り組みについて耳を傾けていました。



▲越前市での取り組みなどを講演する田中さん



科学で未来を切り開こう (2/20)



▲受賞報告に訪れた気山小学校の児童たち

気山小学校が平成 24 年度福井県小・中学生科学アカデミー賞を受賞しました。

この賞は、県内の小・中学校の児童生徒が理科の自由研究の成果を競うもので、応募数 26,892 点の中から団体の部で最高賞となる福井県教育委員会賞に同校 5 年生の自由研究が選ばれました。

同校の自由研究は、「カヤ田の観察」を研究テーマとして、多様な生物が生息するカヤ田の植物や昆虫などを観察し、自分たちで詳しく調べて図鑑にまとめたものです。

受賞報告に訪れた同校 5 年生の澤田若菜さんは、研究した感想として「これからも自然を大切にしていこうということが強く心に残りました」と話していました。



“やさしいきもち”になろう (2/23)

若狭町人権意識高揚大会がパレア若狭で行われました。

この大会は“やさしいきもち”になれるまちづくりを目指して、住民の人権意識の高揚と啓発を目的に行われているもので、今回、人権メッセージ優秀作品の表彰と講演会が行われました。

講演会では、ムツゴロウさんの愛称で親しまれている作家の畑正憲さんが、世界中を旅して感じた人種差別の酷さや人と人とのつながりの大切さについて講演しました。

畑さんは、「口で仲良くしようと言っているだけではダメ。人と人はもっと寄り添って、仲良くなっ
て欲しい」と、来場者に強く訴えかけました。



▲人のつながりについて講演する畑さん



◀演奏する福井県警察音楽隊



音楽でより身近に (2/27)

ふるさと子どもコンサートがパレア若狭で行われました。

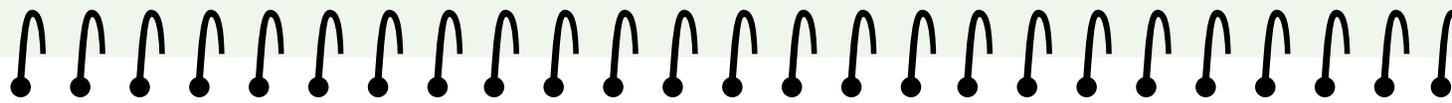
このコンサートは、子どもたちに本格的な音楽に親しんでもらい、文化芸術に関心をもってもらうと県が開催しているものです。

会場には、町内の小学 1 年生から 2 年生の児童と、未就学児の親子など約 300 人が訪れ、福井県警察音楽隊が奏でる美しい音色に耳を澄ましました。

また演奏後には、音楽隊による楽器の音当てクイズや、子どもたちと馴染みのある曲と一緒に歌うなど音楽を通じた交流を楽しみました。

▶音楽隊との交流を楽しむ児童たち





祝・トンネル貫通 (2/28)



▲貫通を祝って鏡開きをする関係者

常神半島の神子集落と小川集落を結ぶ神子トンネルの貫通式が、坑内で行われました。

式には、関係者約 150 人が出席し、貫通発破や貫通点の通り抜けのセレモニーなどが行われ、トンネルの貫通を祝いました。

式に出席した森下町長は祝辞で、「トンネル開通は観光業に発展につながる。1日も早く、また立派に完成することを願っている」と述べました。

神子トンネルの延長は 889 m で、現在の海岸沿いの道路 4.1km の距離を、トンネルが開通することで、約 10 分の時間短縮を図れるそうです。

トンネルは、当初の予定から 1 年前倒して、平成 26 年度中の供用開始を目指しています。



春の訪れを感じます (3/1 ~ 3/25)

三方盆梅愛好会による三方盆梅展が三方石観世音と J A 敦賀美方梅の里会館で行われました。

盆梅とは、梅の木の盆栽のことで、同愛好会が町の特産である福井梅を P R する目的で、収穫量が減った老木を生産者から譲り受け、観賞用の梅として活用しているものです。

会場となった三方石観世音には、本堂内と境内に直径約 50cm の大きな鉢に植えられた盆梅 30 鉢が展示されました。

この日のために会員が丁寧に育てた盆梅は、大きく迫力のある幹から力強く伸びる枝ぶり、その枝先に小さな可憐な花が咲いており、訪れた観光客は春の訪れを感じていました。



◀白い花を咲かせる展示された盆梅 (本堂内)



▶展示された盆梅を眺める来場者



◀劇を通じて環境活動を発表する笑福一座のメンバー

▶電気のしくみを体験する参加者



環境について考えよう (3/2)

若狭町環境パートナーシップ会議が中心に企画、運営する若狭町環境フェア 2013 が、県立三方青年の家で行われました。

イベントでは、環境活動リレー発表や石けんを作るための廃食油の回収、人力発電機を使ったエネルギー体験教室などが行われました。

環境活動リレー発表では、町内の主婦グループの笑福一座が、三方五湖で獲れるシジミの成長を寸劇で披露したのをはじめ、瓜生小学校や町内環境団体などが活動内容を発表しました。

来場者は、発表を聞いたり、実際に体験することで、環境保全の取り組みについて意識を高めていました。



◀恒例の餅まきで賑わう会場

▶ゆるキャラのわかさ梅ぼうとふれ合う子どもたち



梅を見に来てウメ〜 (3/2 ~ 3/3)

恒例の梅まつりがJA敦賀美方梅の里会館で行われました。

まつりには、春の訪れを感じようと大勢の観光客や家族連れが、特産の梅干しや梅の花枝、その他特産品などを買い求めて会場を訪れました。

例年、まつりは梅の開花シーズンに合わせてこの時期に開催していますが、今回は2月下旬に雪が降ることなどもあり、残念ながら周辺の梅園の花はつぼみのままでの開催となりました。

しかし、会場では温かい縄文汁の振る舞いも行われ、訪れた人たちは梅の花を見るだけでなく、舌でも春の訪れを感じていました。



日頃からの感謝 (3/3)

三方民宿組合協議会による「お宿まつり感謝祭」が、JA敦賀美方梅の里会館で梅まつりと同時開催されました。

感謝祭は、日頃から町内の民宿を利用していた皆さんに感謝しようといわれているもので、新鮮なブリの刺身や焼きガニ、ワカメのしゃぶしゃぶが来場者に振る舞われました。

会場では、多くの来場者が振る舞いのテント前に長い列をつくり、振る舞いの開始の合図を待ちました。

来場者たちは、振る舞われた魚介類を味わいながら、おいしい笑顔を見せていました。



◀ワカメのしゃぶしゃぶを味わう来場者たち

▶焼きガニの出来上がりを待つ来場者たち



世界の王さんがやって来た (3/5)

今年8月に嶺南地域で開催される世界少年野球大会を前に、世界少年野球推進財団の理事長を務める王貞治さんが若狭町を表敬訪問に訪れました。

同大会では、世界15か国の子どもたちが参加し、野球教室や交流試合のほか、嶺南各地域で交流行事が行われます。

王さんは、本県で開催する印象として「福井県は歴史や文化も豊かな県。わたし自身も今回の訪問で良い印象を受けた。日本だけではなく世界の子どもたちにも福井県を知って欲しい」と話していました。

町内2つの少年野球チームも、8月に敦賀市で韓国と台湾の代表と交流試合をする予定です。



▲大会の魅力や本県魅力を話す王さん

きずな

絆

～対話と実行～

若狭町長 森下 裕

「地域の元気対策室の新設」

冬の寒さで開花が遅れておりました梅の白い可憐な花も三方五湖の湖畔を埋め尽くすように満開となりました。

いよいよ春爛漫、活動の季節が到来し、桜のつぼみも今か今かと開花を待っているような気がいたします。

さて、3月1日から建設課に「地域の元気対策室」を新たに設置させていただきました。

これは、今年1月11日に閣議決定されました「日本経済再生に向けた緊急経済対策」を有効に活用するために専門の対策室を設置して、迅速かつ円滑に事業を実施するためのものです。

第二次安倍内閣による「ア

ベノミクス」と称される経済対策では、『大胆な金融政策』と『機動的な財政政策』、『民間投資を喚起する成長戦略』の「三本の矢」により、長引く円高・デフレ不況から脱却を図り、国民の雇用や所得の拡大を目指そうとしています。

具体的には、①東日本大震災からの復興加速や事前防災・減災事業等による「復興・防災対策」、②民間投資の喚起や中小企業・小規模事業者対策等による「成長による富の創出」、③安心できる医療体制構築や生活空間の安全確保と地域の特色を活かした活性化事業等による「暮らしの安心・地域活性化」の3分野を重点施策として、財政措置とともに、政策金融などあらゆる政

策を総動員したものとなっております。その他にも、規制改革の取り組みや為替市場の安定に資する施策が盛り込まれています。

わが町におきましても、この大きな経済対策を有効活用し、2018年に開催される福井国体に向けて、さまざまな競技やイベントが行える芝生の多目的交流広場の建設をはじめ、熊川小学校校舎の耐震改修や町道の改良工事など各種事業を実施する予定です。

今後も国の制度を有効に活用し、当町における雇用や所得の拡大につながるよう、これらの事業の早期着工に努めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

広報クイズ

■応募方法■

キーワードを解いて、しりとりをしながら右回りにことばを入れてください。6つあるグリーンのマスの文字をアルファベット順に並びかえると、答えになります。ハガキに答えと広報紙の感想や意見、住所、氏名を書いて、「〒919-1393 若狭町総務課」（住所は省略可）まで送ってください。電子メールでも受け付けます (soumu@town.fukui-wakasa.lg.jp)。正解者の中から抽選で5人に図書カードをプレゼントします。当選の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

締切 4月15日(月) 必着。

◇キーワード◇

- ①春から新しいスタート。卒業・卒園した人が、次の学校に入る式典のこと。
- ②世界三大珍味のひとつで、チョウザメの卵を塩漬けたもの。
- ③今冬、気象庁の観測地点として国内最高積雪となる566cmを記録した酢ヶ湯温泉は何県にある？
- ④カエルやサンショウウオ、イモリを動物で分類すると何と呼ぶ
- ⑤南太平洋東部にある島で、モアイと呼ばれる巨大石像で有名な島の名前は？
- ⑥今まで分からなかったことが急に理解できるようになると言うことわざ「目から○○が落ちる」

【ヒント】

4月14日は町長・町議会議員選挙です
《答え》 ○○○○○○



携帯でアクセス
メールでも応募してネ

- ⑦2012年産の米食味ランキングで、最高ランクの「特A」と評価された本県産の米の品種は、ハナエチゼンと何？
- ⑧2011年は「なでしこジャパン」、2012年は「ワイルドだるお」が受賞した、毎年12月に選ばれる賞は？
「新語・○○○○○○大賞」

①		B			
				A	②
⑤				⑥	
	⑧		E		F
		C		⑦	③
		D	④		

●前回の答え「ハグツカン」 ①ヒナツツ ②リゼンタタ ③タラネ ④ネガシヨウ ⑤ウグイ ⑥スハシ ⑦ヒダシ ⑧ゴジウツ

HAPPY BIRTHDAY



3歳です

このコーナーでは、4月に3歳を迎える町内にお住まいのお子さまに登場していただいています。なお、ご応募いただいた方のみ掲載しています。

今回は平成22年4月生まれの3歳になるお子さまです。



◀ **井上 煌斗くん**

4月4日生まれ（井崎）

親：尚志・由香理さん

消防車大好き★

4月から保育所へ行きます



◀ **玉井 和希ちゃん**

4月23日生まれ（上瀬）

親：雅人・公代さん

元気一杯。

ママには負けないぞ!!



◀ **吉村 那月ちゃん**

4月24日生まれ（三生野）

親：卓也・優子さん

お兄ちゃんだーいあき♥

今回は平成22年5月生まれのお子さまが対象です。
写真と25字以内のコメント、生年月日、ご両親のお名前、連絡先を添えて総務課または上中サービス室へ提出してください（メールでの送付も可）。4月5日（金）必着です。

●問い合わせ 総務課 TEL 45-9109

電子メール

soumu@town.fukui-wakasa.lg.jp

（受信確認のため、必ずお電話ください）

文芸ひろば

冠句

若狭町冠句の友

忙中閑私ひとり秋拾う
嶺粧う自然の移ろい偉大なり

今川ことね（鳥浜）
深水 和子（三田）

川柳

ほっと川柳

ここだけの噂話がよく動く
早春の土が動いて落の臺

山本 光子（兼田）
重長 幸代（三生野）

川柳湖畔

お宝のお皿の一枚よぶ波紋
祝言のお皿の鯛も踊り出す

清水 博江（鳥浜）
山田 和枝（倉見）

短歌

上中短歌会

なんとなく八十三歳迎えたり
雪なき庭に初日を拝む
わが帰宅を待ち侘びたりしか
家猫は止める車の前に寝ころぶ

小林 福（日笠）
奥本 守（下吉田）

かそり歌会

東風吹きてかそりほのかに如月の
三方湖畔に白梅芽ぶく
凍て道を登校の子等連れ立ちて
吐く息白くペダル踏みゆく

今井きみ子（南前川）
中西 友信（向笠）

俳句

若王子土筆句会

健康を謝してしるしの豆をまく
卒業や足裏は地球踏み立て立つ

石田 希代（若王子）
原田 房枝（若王子）

小原乙花俳句会

湯たんぽに母のぬくもり重なりて
一湾を四角に占むる牡蠣筏

山本美代子（小原）
山崎 郁子（上黒田）